

【別紙】

一般社団法人 日本ボクシング連盟 令和2年度 第11回理事会別添資料  
2021.2.21(日) 14:45~15:45

会長挨拶：引き続きになりますが、最後までよろしくお願いいたします。

1 議事の経過の要領及び議案審議の結果

1) 決議事項

1. 全国高等学校選抜大会および、その後の代替イベントについて

仲間専務理事：選抜大会は理事会で決定しているので主催としての大会実施は難しい。

代替イベントについては高体連主導で実施してもらうように調整している。

高体連だけの単独開催が出来ないということと、大会名が同じでないと出来ないという課題がある。大会名については、コロナ禍における代替大会ということで、サブタイトルを付ければ何とかなるだろうということである。

日連は特別協賛として金銭的補助・人力的補助として協力する。

主催については、四国ブロック連盟の共催で調整する。

坂巻議長：この提案に反対の方は挙手をお願いします。

(反対意見なし)

2. JOC理事推薦に関して

仲間専務理事：内田会長を推薦することを書面決議で行ったが、16名しか回答がなく、あとの6名が無回答であったため可決できない状態である。ここで改めて審議をお願いしたい。

石橋理事：書面決議に対してどちらにも投票していない。スポーツに造詣が深い方というのが要件の中にあると思うのでスポーツに長く携わっている人、若しくは、女性を推薦することに意義があるのかと思う。

仲間専務理事：女性の推薦については良い事だと思う。女性を推薦するのであれば、複数名の推薦が可能であるとのこと。現状、後藤理事を推薦することも一つの案であると思うが、そこを含めてディスカッションしていただきたい。

スポーツに造詣が深い方だけではなく、それぞれの専門性に対して造詣の深い方、多様性のある理事をJOCもJSPOも求めている。私見ではあるが、会長であれば企業経営者として財政のこととか、お金を持ってくるとか、お金を作り出すとかに関してたけていることが能力である。そういったことで、スポーツ経験者でない形で組織運営に協力できるのではないか。

中島理事：公益化について一生懸命やってくれていることに理解している。しかし、会長の今までのやり方について、会長の意に沿わない委員や理事を排除している。菊池理事のJOCの評議員の件に関しても、JOCからの指示だと専務理事からの説明もあったが、そういったことも理事会で諮るべきことだと思う。色々な意見を取り上げてまとめて行くのが会長ではないかと思う。この件についても、理由があって推薦してくれないかという言葉があってしかりだと思っていた。強制とか、脅迫とは言わないが、数がたくさんある理事会なので可決されると思うが、この流れには賛成できないのであえて反対する。

仲間専務理事：JOCの件に関して議論をするということは、中島理事のおっしゃるとおり。JSPOの理事推薦の時には議論がなかったので、同じ様な形で書面決議が出来な

いかと提案させていただいた。中島理事がその時に反対票を入れてくれれば、強行して推薦を行うことはしない。意思表示をお願いしたい。意思表示がなかったので、今回理事会での話し合いになっている。

吉沼理事：私も投票していない。この話が始まってから、オリンピック組織委員会の話しが出てきて、この中身の改正点の見直しを読むと女性理事を増やすことがあり、日本連盟としても女性理事をプラスワンして欲しい旨で投票できなかった。

仲間専務理事：投票であれば、部分的に賛成できても、追加の意見があれば意思表示できないところもあるかもしれない。その場合は、理事のLINEの中で意見を言っただけ投票して欲しい。内田会長推薦は良いが、プラス女性1名ということで例えば後藤理事を推薦してはどうかといった意思表示をして欲しい。理事会を開催するとなると、招集通知も出さないといけないし皆さんの負担になるので、決められることはさっさと決めていければ良いと思う。後藤さんの例が出たが、JOCの理事会は頻回にあるので、出席できるかどうかを含めてどうだろうか？

後藤理事：JOCでは女性理事を表舞台にと出ているが、その前に日本ボクシング連盟の女性理事を増やすことが一番であると感じる。JOCのメンバーと対等に話し合っていけるような女性を理事に上げるようにしていくべき。今の時代、女性を無理に引き上げている感もある。本当にやりたいと思っている女性が表に出て発言して行って欲しいと思う。女子ボクシングは歴史が浅く、これからの世代を理事に引き抜くことが私らの仕事だと思っている。私や、他の女性委員は色々負担が大きい状況なのでJOCの仕事をすることは不可能である。

仲間専務理事：強行をお願いすることもなく、現在の日本連盟で頑張ってくれているので、これ以上過度に負荷をかけるつもりもない。

中川さんを理事にする件については、現役の国際審判員は、NFの理事を兼務できない規程があるので推薦は出来ない。

女性で理事にふさわしい方が居れば、随時理事会で提案して欲しい。

富岡マネ：JOCから日連に理事を推薦して欲しいとの依頼があった。この理事会において、会長を推薦するのか？しないのか？日連から誰も推薦しないのか？この場で決めて欲しい。

仲間専務理事：会長を推薦するかしないかを採決したい。もう一人とか他に該当者が居るなら、そこに関しては議決が出来ないので後日にしたい。

石橋理事：何名推薦できるのか。

仲間専務理事：基本1名で、女子の場合は複数名の推薦が可能。

石橋理事：今日会長を推薦したら、もう推薦は出来ない？

仲間専務理事：女性なら出来るかと思う。例えば、石橋理事が今回十分に議論できていないというならば、この件については一度下ろしても良い。

石橋理事：仲間専務が、会長は会社経営も含めてそういう人たちとも言われているが、スポーツに造詣が深い人が良いと考えるので、泉監事を推薦したい。

仲間専務理事：私もJOCの会に出席しているが、スポーツに造詣が深いものでなくてもむしろ多様性のある方に来て欲しいと言われている。

ただ、スポーツを凄くやっていた人でなければ、スポーツ団体の運営に携われないというのはちょっと違うのかなと思う。

泉監事：日連に監事として関わっているが、通常の学務との関りにおいても時間的に厳しいところがある。監事なので投票権はないが、内田会長推薦で良いと思う。

自身は学務との兼ね合いで難しい。

坂巻議長：内田会長を推薦しない方は挙手をお願いします。

（賛成20 反対1）

賛成多数で議決します。

安川理事：女性理事について検討はするのか。

仲間専務理事：4月6日がメ切なので、該当者がいれば理事会で検討する。

菊池理事：選考委員会で上がってくるのを、複数名推薦するとボクシング連盟から選ばれる可能性が低くなるのでは？風を呼ぶと言った意味で女性理事も上げたいところであるが、知名度の問題からしても中々厳しい状況だと思うし、連盟改革中のことはJOCもわかっているの、会長1本で行った方が可能性が高まるのではないかと思う。

### 3. その他

#### ①全国選抜大会について

篠原理事：選抜の話が戻るが、主催はどうなるのか？サブタイトルはどうするのか？これから追々決めていくのか？方向性だけ示して欲しい。

内田会長：開催県（徳島県）と篠原理事、専門部の富樫部長と全国高体連の許可が下り次第に協議したい。まず全国高体連の許可の問題があると聞いているのでそれが出てからお願いします。

篠原理事：全国高体連の許可というのが良くわからない。

高体連 原氏：現在、全国高体連と日本ボクシング連盟で共催申請されている。改めて主催が変わるのであれば、主催の資料を変更したうえで、全国高体連に再提出して何う必要がある。主催がどこになるのかを決めていただきたい。

内田会長：富樫部長との話では、主催は高体連、共催は四国ブロック連盟という話だったと覚えている。

高体連 原氏：共催なので、全国高体連、四国ブロック連盟主催で話を進める。

内田会長：日本連盟は協賛となる。

高体連 原氏：特別協賛が日本ボクシング連盟で資料を作成する。

篠原理事が言っていたが、書類上は「令和2年度第32回全国高等学校選抜大会」となる。出場する高校生、出場できない高校生の理解が深まるためにサブタイトルを付けると聞いている。全国高体連に提出する書面にはサブタイトルを付けずに、大会運営上はサブタイトルを付けるという理解で良いか？

内田会長：はい。そのように話しをしている。高体連の方がハッキリしたら、サブタイトルを考えて行く。

林田理事：四国ブロック連盟が共催となるなら、四国連盟の事務局として今後どのように連携していけば良いか？

内田会長：事務局に関しては、原さんの方で進めていただけた話だったが。

原氏：今回の主催が四国ブロック連盟になるが、どうしても日本ボクシング連盟の協力がなければ大会運営が出来ない。基本的には、及川事務局次長と私と徳島県の赤澤さんで協議させていただきたい。共催申請の提出については、四国ブロック連盟の事務局にお願いしたい。

井崎理事：徳島リスタートトーナメントというサブタイトルの話が出ていたが、サブタイトルは賛成だが、言葉は無限にあるので、カッコいい言葉とか、インパクトのあ

る言葉とか作れると思うが、一番考えないといけないことは、出場できない選手のことではないと思う。出場できないエリアの選手（関東・東海・九州）が納得するタイトルを付けてあげないといけないと思う。出場できた選手にとっては、やれたと思うかもしれないが、全く出ることが叶わない選手や指導者や保護者には配慮が必要だと思う。真剣にサブタイトルの条件を考えた方が良いと思う。

仲間専務理事：徳島から「コロナ」と言う言葉はネガティブになるから使って欲しくない要望があった。

井崎理事：よくわかる。そのうえで、出られない選手達のことを考えるべきである。

菊池理事：以前会長が、出場できなかった3ブロックの選手と全国選抜に優勝した選手が戦う場があっても良いのではないかと仰っていた。日程さえ取れば、全国選抜大会決勝大会みたいなことが出来たら、日本連盟的にも盛り上がって行くのではないかと思う。ご意見を聞かせて頂ければと思う。

内田会長：中島さん、今回参加できないブロックで一度予選をしていただいて、今度の四国で優勝した選手と3ブロックで優勝した選手とワンマッチで試合をさせるということを考えているがどう思われるか？

中島理事：関東ブロック内の話しでは、全国大会に出れなくても、3月中に内部だけでも大会が出来るように考えて欲しいと高体連に投げかけたが、4月になると5月の関東大会があり、次の大会の準備に入るので時間的にキツイと言われた。高体連の意見としては無理だと言われた。このことから、関東連盟の棄権を日本連盟に伝えた。これから言ってもどうだろうか？

中村理事：中島さんが仰たように、関東でもその話題を出して貰った。関東は選考が出来ないので苦渋の決断で辞退となった。ありがたい話ではあるが、私らは考えを切り替えて、次のシーズン（県の大会、関東大会、インターハイ）は間違いなくあるだろうと切り替えている。現実的に厳しいと思う。

## ②JOC 理事推薦に関して

仲間専務理事：先ほどの JOC の理事について、菊池理事から会長 1 本で行った方が良いのではとの意見をいただいたが、他の意見をいただいた方が良いのかと思う。

元々は女性理事ならもう 1 枠推薦可能であるということで採決した。会長を推薦したとしても JOC 理事になることは相当厳しいと思う。無理な可能性の方が高いが、NF としても JOC の活動に対しても貢献して行ける人材を推薦する意思があることを示すことが大事なことである。

これに出さないと、日連は自分たちのことだけやっていて、JOC やスポーツ界に対して、ボクシング界から貢献できる人材を提供する意思がないと思われるので出さないといけない。

一本化するのか、女性理事を出すのかに関しては、ご意見を聞きたい。

坂巻議長：内田会長ともう一名を推薦することにご意見がある方はお願いします。

（意見なし）

意見がないので、会長 1 名を推薦とします。

## ③マスクの寄付について

池端理事：以前、理事会で群馬県の美山産商(株)さんが選手の顔の大きさに合わせてマスクを製作して寄付してくれるという話があった。総務委員会で担当したが、既に選手のサイズを測って 30 名分のマスクを事務局に送っていただいている。せっかく

の御厚意なので、HPで紹介していただくとか、選手のサインの入った色紙を送っていただくとか、していただけたらと思う。

内田会長：そのようにさせていただきます。

#### ④顧問について

内田会長：日本連盟の顧問は、政治家の方々だけである。ボクシング界からの顧問は今まで居なかったが、全国からボクシング界に対して貢献された方、そして、しっかり意見を述べられる方を顧問としてお迎えしたい。人選に関しては私に一任していただけたということだったので、HPにて発表する。その顧問の任期は、私の任期のみである。

会長挨拶：皆さんお疲れ様でした。高校生のために是非成功出来るように協力して頑張ってください。本日は本当にお疲れ様でした。

以上